

## ◎ 敬愛大学

科 目 名	担 当
体育原論	武内

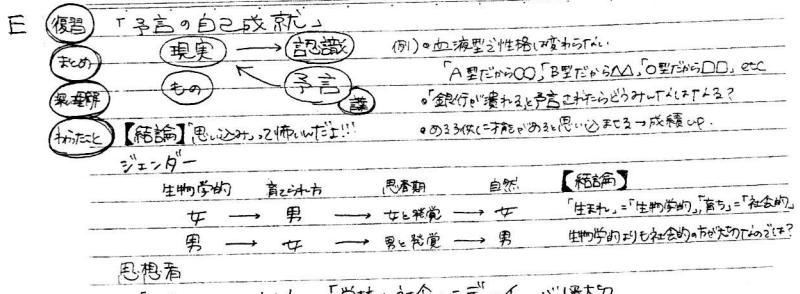
5月18日 (リアクション)

A 大学で本当にうるさいお金がかかるでいるなと思いました。今まで私はあんまり熱心に受けたかった事を、とても後悔しました。これからは、より集中し、熱心に授業に取り組もうと思います。

B カタツムリは木は増えた木々は増える木々は増える  
初めて聞くことが多く4000円のものもとあります。

C ①「予言の自己成就」にかかって銀行やふれあい会員登録をする結果本当に銀行が開かれました。現実から認識があるといふことは、いたけれど認識が現実に沿っている考え方があらわして思いました。また、言葉の認識は違うところと何かつながりがあります。生まれたときの男だと思って育てられてきた場合→思春期に自分が男だと気がつく→生物学的性分化が進む。これがいいのは良いと思う。(私自身がへどいつまでも自分の性分化について私の恋愛に合はせたいとは思つた)。生物学(生物) 社会的(育ち)  
②発達課題が達成されないと不幸になります。達成されると幸せになります。ハヤカーストの発達課題が育ちにあります。

D 「予言の自己成就」はとてもおもしろい話だと思います。現実ではほとんどない状態でもひとたび予言といわれるあたりそれがいよいよ言葉によって現実性をもつて時代において現実に変化していくそれが認知被る。まさに人間の普遍的な感情の流れが社会では、このようになるのがわかると思います。その認識を反映するものたちが変わるものと言われ、現実を否定していることになるが、ひと昔前からレオの地動説をその予言によってできた現実によく異端とされたが実際にその地動説はありました。つまり予言というものはそこまでの影響をもつてました。その予言の力はうまく使いつけて教育を取り入れられたと思った。  
また上野千鶴子さんの自然と社会的(育ち)が大切というのも、自分はものすごく納得できるのですが、最近は生物学(生物)のほうが大切になると悩むことがあります。



☆「性自認」と?? → どちらの子(社会的性別)が???

F ちたこか現実にたどりは、皆日本で信じておいた言葉を思い出しました。子供は生まれてから子たて言って、実際は、子供から頭から下るには心理学でやいました。銀行がつづくように言っておしゃべりしたところ、言葉はどこか苦いで重要なたとえと思いました。

J ②の授業光にとても驚きました。差別に感謝しながら勉強を頑張つて下さいました。本来の性では違った性のより社会的に育てられ、本来の性では関係なく、他の異性のようになってしまったのを思いました。  
カタツムリに性別がないことは知りながらたって、とても驚きました。夏目漱石が黒子に出てきたことを知らないからたって、とても驚きました。信じてほしいのに、信じてもらえないことは自分たて、たりつくついて思いました。性同一性ではない、自分と思、こいつのことは人間ではなく、アインセンヌーを通じてはいけないことは、その人に、どうもつらいことだとうかと感じます。

K 楽が変わらぬばかりで、こういう性格だとおもて、どうなるといふのに、どうも思えない! とても納得する事が出来ました。予言の自己成就の話は、本当にありましたか? あります。自分は出来る、周りも自分が出来ると思っていました。なぜか、ストレスとかにつぶがらないのかな? と思いました。なぜか、疲れた時に、男と女と間違えてしまったのかすごく疑問です。でも、私的には、育つことに環境に合わせて、性転換をした方が、良いと思いました。思春期の時までとの性が育つときに、つづいて、男となりました。少なく男にといふのは、無理だと思いました。ハヤカーストによる発達課題は、とてもすごいと思いました。世界共通で、このような事が、あり、すごいと思いま

L 思ひ出せ、これないと思いました。心理室の授業で、子どもをどう入れやるという実験が、生まれたての子どもに動物が「かわいらしい」と思つたり、かわいい、動物が嫌い、あるいはどちらとも思いました。  
 <小学校のときに学ぶべきこと>  
 基本的には知識はもちろんだが、生活面のほうが大切だと思ふ。自己中心的思考をしてはいけない。自分の好みは自分で自分で好き、あまり自分のことをあまりまことにやるといふことが大切だとおも<育児本>...>  
 がいい。且つ人にたいして不器用じゃなくて、その場での場で大げさに細かいこと。勉強ももちろんあります。漢字、英語がいいことである。

M 取りや、血液型診断などはとても書いていたけれど、これらコントロールのほうもなので、「私はB型だからこの性格なん」自分で思い込んでしまっているものなんだなといふことを矢張り生物学的、社会的の話だけ、生まれたりも育ちが大きくなることを学びました。男として生まれても女として育つことは女として生きてしまふし、生物学は男という事実は社会的で女として育てられたということの方が「かわいい」と感じました。

N 今日は、前回まで見たことを思いかえすことができた。セグナーについて考えさせられることがあった。女として生きていける男と知らされてでも女として生きるといふことがわかった。生まれたり育つというのを本当になんだかあと思ふ。育ちにFと性別は変えられると思ふ、あきらめたら終わりで小学生までに何を学んでやらないといか。

O 発達課題を大変興味をもって見ることができ、色々書かれていた。発達課題は年齢ごとに学ぶべきことや、身につけておくべきことを書かれている。今私は19歳なので、少年期にはるさい。少年期は配偶者の選択、情緒的生活とかれていた。これは、育児や家庭などを含めており、自立することが大切だと思った。ほかにも社会的責任の負担、身心のあた社会集団の発見とも書かれていた。大人として立ち直る方法が大切であると思ふ。12歳から18歳の間に青年期が一番発達課題が多かった。このことは何を考えるためにかんべつかたないので、早い段階で今よりも努力をしたいとおもいました。

P 今回の授業が書かれたプリントを見た。保健園、幼稚園への入園のあり方やことが出来ました。入園するということは、今まで室内や、親の中というくらべて、社会へ出るということだと思う(子供はひとつ)し、周りの変遷のことを考えながら、この先成長していくうえで大切なことだと思いました。また、親と離れて過ごすが成長するために必要だと思いました。

小学校の時代に子どもが学んでおかなければならぬ課題は、周りの人や先生をはじめとする大人との関わり方をまずは学ぶべきだと思います。先生も負けじめなく関わってしまうのはよくないことです。そして、中高生には社会のルールも(小学校卒業後～中学校卒業中)

高校時代までに学んだおかけばならないことは、自分の尊厳をもあけいろいろな考え方があり、自分が何か正しいと思わないと思いました。自分の意見を出してばかりだと、社会に出たときに困ってしまうのではないかと思いませんでした。

Q 小学校で学んでおかけばならないことは、主に社会が思ふ最も重要な知識を具体的に、図表で言語、算数など算数など計算、家庭科と生活のことで理解するということであると私は思ふ。

R 高校では卒業すればどう白人一人でも行ききかなければならなくなる社会で通用する知識や社会のルール、コミュニケーションスキルが必須になります。それは卒業後も学校で学んだことへ延長線上にあります。小学生時代の学習はカタツムリは脊椎動物に分類されハマグリやアサリなどの貝に多い動物です。王族はクガ蟹やニシンなどの野菜。またコンクリートを塗りて食べる。雨の日にコンクリートが多いところが多いのは、この気候のためであつた。カタツムリの他にこのあたりで繁殖する種類など。



# 米大統領の訪問で怒り・恐怖とへ

「怒り」は、その他の言葉とともに、この訪問が記述される際に最も多く使われる言葉である。

山本 昭宏  
やまと あきひろ  
准教授

84年生まれ。専門は日本近現代文化史、歴史社会学。著書に『終戦と日本人』、『ヒロシマ・ゴジラ・フクシマ』(共著)、『戦後日本の政治』(監修)など。

「怒り」は、その他の言葉とともに、この訪問が記述される際に最も多く使われる言葉である。たとえば、1990年代後半から、原爆投下の指揮者をめぐる議論では、「怒り」が最も多く使われる言葉である。

一方で、1990年代後半から、原爆投下の指揮者をめぐる議論では、「怒り」が最も多く使われる言葉である。

## 問題隠す「和平」投下の是非論に決別を

(左) 平和の手書き

されたが、その後の日本を語るときに「」がつかないでいる。

これは、

それが、

それが、</p

## ◎ 敬愛大学

平成 28 年 6 月 1 日(水)

科目名	担当
教育原論	武内先生

- ① アメリカが広島・長崎に原爆を落としたことをどう思うか  
いくら争争とお互いに非があるうと、原爆を落とされたことを何も悪いとは思わない。子どもやお年寄り、女性、男性の命が失われたから許せない。
- ② オバマ大統領の広島訪問をどう評価するか  
改めて、自らの目で実際に現実にあがきこむ見立、感じようとして準備をするべき良いと思う。
- ③ 核・原爆についてどう思うか  
この先もずっとありますからものと戻る。核や原爆が幸福を生むことは見えないから、非核運動を行っていきたいと思う。
- ④ 小学校などでどこかに原爆をどう教えるか  
実際に日本がおきて現実の出来事をみて、とも思はしく人々や町をかじてしまうものと感じることを教える。

## B

- 1 アメリカが原爆を落としたことについて  
いけない事である。何十万人もの命を失ってしまうほどの威力で、もし、逆の立場だとしたらどうするのかを少し考えて行動する方が良いと思う。
- 2 オバマ大統領の広島訪問をどう評価するか  
広島にどのくらい被害があつたか、自分の目で見立にしてみるところは良いことだと思います。
- 3 核 原爆についてどう思うか  
広島の原爆ドームを見に行ったりと、よく衝撃をうけっこセミナーなどだが、これからは本当に原爆をどう教えるか
- 4 小学校などでどこかに原爆をどう教えるか  
アメリカが日本に原爆を落とし、何十万人もの命が亡くなつたのだと真面目に伝えたい。

## C

1. アメリカが広島・長崎に原爆を落としたことについて、ハウイー真珠湾に飛行機をなして襲撃したて日本がアリカを憲法で敗れたことが悪いと感じます。日本の立場からすれば、これでなければ日本は生き残ったかもしれません。しかし、當時は、当然のことだと思います。日本は原爆を落とすほど追い込まれたのです。日本との国交を保つにはしなければならないことがあります。
2. 被害は自分たちの行為からならない。  
原爆を落とした人の神経はわからない。
3. 被害は元朝鮮や今も生産している世界を破滅する危険なもの
4. 原爆はアメリカが広島・長崎に落とした當時に凄い力の爆弾

## D

- ① 山本昭宏さんの記事を読み、広島の原爆はヤクシムでしかなかったんだと思った。小学校の時にはレクリエーション本と読み衝撃をうけて今でも覚えてている。
- ② 原爆を投下した後のオバマ大統領の訪問は、世界が平和と戦争をいかに世界へ少し近づいたかだと思う。
- ③ 核は自分の国を守るのに必要かと思うが、核はなくならない方がいいと思う。あるからほかの国も持つと思うので、核がないければ、むだな戦争で大切な命を失う事はないと思う。
- ④ 自分が小学校の教師になら、自分の事を守るために必要だから、決して相手に攻撃しないようにいい事を教えて。戦争はやつはいけない事(命を守つけてはいけない事)などを教えていいと思う。

- E 1. 私は、アメリカが原爆を落としました、たまにいい、悪いことは思いますが。日本人もたくさんいましたが、日本も他国にそれをつなぎをしてきました。なので、アメリカはやつたと思いました。
2. オバマに対しては、来た事についてとても良いしんじたと思います。どうぞ、子供を無くさうなどの話で、じゅぶんだと思います。
3. 核、げんばくは無くなってしまいと思います。一番で言つた事は、核を認めているわけではあります。アリモ、たとえあります。そのためには、今のために今、世界から核を無くすべきだと思います。
4. 今は、戦争をいたしました人が、とても少なくなっています。今回の授業のように、映画を見せたり、資料などを見せたりして、伝えたいです。今でも戦争が起きている国はたくさんあります。その事をこれこうにして、伝えていきたいです。

- F 1. アメリカが広島・長崎に原爆を落としたことをどう思うか  
広島・長崎の人たちのが落ちたのがいつだったか當時の戦争をどう思われるか  
他の命を殺す行動で頭がおかしいと思う。
2. オバマ大統領の広島訪問をどう評価するか  
原爆の時にオバマはいましたが、日本への同情を持てて来日してCRしたのかな。  
石川洋次郎もかわいがって思ひます。  
うれしい原爆について思う  
イライア。何のためにあるのかわからたまつた人の命を失くしてしまうも。。  
ほんとう。
3. 小学校などでどこかに原爆をどう教えるか  
1~2年生は、おじいさんたちの作る  
3~6年生は、講演会を聞く。  
7~8年生は、原爆を見てから。

## J

1. アメリカが広島・長崎に原爆を落としたことをどう思うか  
日本が戦争をしかけたし、それに日本がイギリス宣戦布告と早く承認していました。  
原爆を落とされましたが、と思うので日本にも原因があると思いました。でももっと他の方が作ったんではないかなどとも思います。
2. オバマ大統領の広島訪問をどう評価するか  
今までにアメリカの大統領が訪問した人はいなかったと感じ、どう思います。  
日本に評価されれば来てことかすごいと思いました。
3. 核・原爆についてどう思うか  
作りはいけないもの。争っつけいけないもの。人を傷付けるもの
4. 小学校などでどこかに原爆をどう教えるか  
私は子ども達に日本がして行動などを真車でしゃべり話し、その上でこんなにも大人の人が被虐にあり、けしてやさではない出来事だということを教えたくなります。  
通して子ども達がそれだけ思ふか、戦争の残酷さを伝えたいです。それをふんだ上での今生きている私たちにはどうするべきかを考えさせたいです。

## K

1. 私は高校の修学旅行が長崎でした。テレビ等で見立のことは通じて圧倒されました。  
博物館に展示されている爆弾(フロッタ)の威力と想像を離すものでした。核兵器は人の命だけでなく奇跡的に生き残った人たちの心まで壊していくもの。だからこそ、大事が二度と起きないように世界規模で考えほしい!
2. 実際にテレビでは見立でしたが、アメリカ大統領が広島に訪れたのはオバマが初めてです。正直今さうて思ひますが、それでも現実問題をとらえましたのに、も事実関係を直視することは良い行動だと思います。70年の間多くの人は苦しんだと思います。だから今回の訪問は少しでも和らぐかと思います。
3. でも述べた通り核兵器は絶対に使はいけない武器です。今はあまり使わないと思うが唯一北朝鮮だけアリやう国のお金でいろんな兵器を作っている失败になります。私はこの国が大嫌いです。ドム・ジョンは人として終わっています。人々の生活がよくなる武器を作るに一生懸命になっていることが許せない
4. 今の子供たちにとっては遠い過去の事だけ日本で起こして最も強大最悪な原爆事件は深く考えてほしい。そのためにも私たちがもっと多くのことを知り、いかに伝えていくかがミソだと思う。具体的には資料や映像を見てあげや肌で実感してもらえないでください。私はいつもモチベーションで実際には地図に残っている防空壕を見せてあげる。

## L

1. 日本の軍隊が降伏しないから、こどもや女性に被害がくわづいたのですが、ないやんとは思います。もし原子爆弾が広島・長崎に落ちなければ、さりに日本軍は倒れたと思います。でもたらで女性を犠牲にして。しかし、原子爆弾による無差別攻撃は間違っていたと思う。原子爆弾をつんだB-29エラケイのパイロットであるポール・オバーンはアメリカ英雄として讃えられた事に日本人は非難ですが、もし日本が核を持つアーティカリを空していたらそのパイロットを英雄に思ふと思う。日本が平和主義だから原爆を武器としているまいと思う。原爆は大反対である。
2. スピードにてて動画(オバマ大統領の原爆投下前の戦争)が、アリの責任や広島に来たことにより、あの時代日本になにが起きたかをちゃんと教えてもらいました。長崎・広島の事でして理解したと思うオバマだから、かんとした世界を作ってくれると思う。もう核を使はなくてよい。
3. 原子爆弾について思うのは、何万人もの死者を出しただけでなく、死の黒い雨など火災発したあとにも人に被害をあたえ、土地をこね、それでためにする最高なものである。今、核兵器を持っている国は、他国をあざわらうことだけである。核なんかも使ってない日本が唯一の核兵器をもつたるから、世界に核の悲鳴をもつたるべですか。
4. こどもたちに一番知りたいことは、自分たちと同年代のこどもたちが被虐にあつた事である。それを教えてもらひ、子供たちが、原爆弾の火薬のなさを放ててあげたい。

N

## ○ 敬愛大学

科 目 名	相 当
教育演説	武内 先生

## 1. 原爆落としたことについて

私が体験していないからあるとかかもしれません、原爆の方が、で今の日本がいると思います。だから、絶対戦争ダメと言、ダメだと思ひます。

## 2. オバマの広島訪問について

来て、言わされたことを見てもうることはいいと思う、アビ、あやまけて、いつのまに別のことだと思ひます。オバマがやったことではないから。

## 3. 核について

核は全ての国で無いべきです。北朝鮮がなくせば、全ての国からなくなると思ひます。

## 4. 子ども達に原爆という歴史を教へたい

戦争と終わらせたもの。沢山の命を出したもの。でも日本の、やな苦も辛いがでていてももの。でも絶対にありはいけないもの。忘れなれきり。

N

1. アメリカが広島・長崎に原爆を落としたことは戦争中だったのに手段を變ふことがなかったので、今となってはいいと思うかもしれないが勝つために仕方ないと思ふかもしれないが被爆がありにも大きいアーリカの良い例はなくてないと思ひた。

2. オバマ大統領は皆のことを忘れないように日本を気遣う気持ちをもっていると思ひとてもいいことだと思ひた。

3. 核と原爆は戦争の恐るべき兵器となっていた。日本は戦争に反対している国なので何事もなければ他国が核実験をしている国があり核なき世界は終わりそうにないと思ひた。核兵器は軍事で相手を威嚇し、恐怖を与えるので所持するはよくないと思ひた。

4. 小学校の子ども達は戦争を書かせると戦争の時代に生まれなくてよかつて書くかと思うけれど日本の歴史の問題夏がりでどうせではないと思った。

レガリと歴史を理解し学ぶことを教え恩ナ和を知ることで理解を深

O

アメリカが原爆を日本へ落としたことにつけ、私はとても悲しいと感じますが、戦争を終結させたと、と言ひるのは「どうもしない」と思ふ部分もあつた。原爆を落とした国、落とした國が、まだは國際的か相互理解を深めたとは、歴史的認識へ遠い感じが普通な部分、例えは人権や平和など普普通の価値観之内にアーティスしていいことか、これまでの問題をどうして重要なと感じます。

オバマ大統領が広島に訪問したことにつけは、私は良いと感じます。アーティスが原爆また訪ねたことには、少なからず落としたことにに対する謝罪だと思ひます。今、核がどんどん増えていく中で、核保有国が広島に訪ねるは核と日本世界へ未来をアーティスしく大げに意義を持つと思ひ。

P

## 1. アメリカが広島・長崎に原爆を落とした事はどう思うか？

私は良く分からぬけど、戦争の勝ち負けが既に決まっている時、どの原爆は本当によくなない。良くなないと言葉じゃ言い表せないくらいの複雑な気持ち。

## 2. 不二大統領が広島を訪問した事、私は別に良くも悪いとも思ひません。

日本人もアメリカ人も、現実を知る事は大切だと思う。戦後71年、そろそろ被爆者の方々も少くないことです。これからこそ歴史を知る必要があるし、名残り必至もある。けれどそれでおまけに核兵器を使ったのは間違いたと認めてほしい。

と言うのは違うと私は思う。いつも過去の事をひきずり言ふんじゃなくて、オバマ大統領はアーティス宣言で「核は世界」をめざす言ひているのだよりも向いてそれでいいと見え。

## 3. 核や原爆について良い悪い、なんてない。核保有国はすぐにやめてしまいと思う。

けれど実際問題、自分達を守るのは最終的に自分達。守るために使田アーティス。

## 4. どちらかは、広島や長崎につれて行ってその歴史を見てしまい。

そして私も見たい。

キレイな日本、それはたくの嘘のない事実を教えた。映画を見せるのもいいなと思う

Q

1. 許ではない。けれど、その事があったから他国や自国にて核原爆がどれだけの脅威なのかを示すことが出来たから、一概には言ひたくない。けれど被爆者の人々には本音にいって思ひたと思ひ。

2. 広島に訪問はしてくれたのは、正直感動して。オバマの演説を素晴らしいが、アメリカが落として、どうの明確には伝えてくれていなかつた。核をこれから絶対に使わないという約束をしてくれなかったのかは残念だ。(ニシ中野食から出勤の予定)「アビ」と思ひ。

3. 核・原爆は無くすれば良い。戦争には止める物の一つだと思う。戦争をしたって、世界は何も変わらない。現に今がそうだから。

## 4. 原爆の製作、開発を教えた。

R

1. アメリカが広島と長崎に原爆を落したこと決して許さることでない、とても悪いことだと思っている。しかし、アメリカが一方的に悪いとは思ってはいない。戦争始めたのは日本であるし、日本もたくさんアーティカ人を殺している。原爆を落せる唯一状況が戦争で、戦争は行っている両方の国が悪いと思う。

2. オバマ大統領が広島を訪問はとても良いことだと評価できる。多くの人は謝罪を求めているが、オバマが原爆を落としたわけではないので、謝罪にはあまり意味がないように思える。アメリカの大統領が被爆地に訪山し、被爆者に会う。世界にニュースとして流れ、改めて原爆について考えることに意義があるように思えた。

3. やすり一聲にして多くの人の命を奪う行為であるので、あってはいけない物であるこの核保持の問題は、保持している国だけでなく、全ての国との問題であると考えた。

4. 自分が子ども達に教える時には実際に被爆された方の話を聞かせてあげることはできないと思ひて残っている映像や書物で教えておきたい。

S

1. 私は原爆を落としたことはよくないことは思ひますが、落とされてよみがえりタバコ宣伝など日本軍のことを見た、戦争を止めためやむを得ないことを、そういう意見にも納得できます。

2. 広島訪問はやさしくてましたよ。上した、というように思ひました。もと早くきた方がよけたのがほんと思ひます。国内の反対を押さえてアーティカの大統領が平和公園に来たといふ出来事自体が世論を惹きつけても変えたために必要なんだと思って、今まで70年位たしても、実現してよかったです。日本が負けるまでは増加してしまって、この出来事を機に、少しでも核廃減を目指す、という世論が強まっているなと思っています。核に依存しない世界に少しでも近づいてほしいです。

4. 自分の意見は押しつけず、事実だけ伝えたいと思います。私の周囲の多くの意見は全くちがいます。子供たちの感じたままに、核について考えるといいです。

T

本当に分からぬけど、原爆を落とす場所を決めるのはダーツだ、たゞらう色々ありました。広島、長崎に落ちたから、どちらに落ちても不思議でなかったと思ひ。

日本が負けるまでは目に見えていたのに、そこそこ原爆を落としたアメリカがひどいと思ひ。原爆が落ちて戦争は終わったけれど、落ちたから終わっていたのか…。

日本が負けるまでは自然の報いであったとも考えててしまう。

2. 核兵器を減らすと宣言していたのは良いと思った。オバマが広島に訪問したことによると、世界中に影響を及ぼし、核兵器をゼロにするためには、日本も核兵器を減らしたいと国民が言ったことをニュースで見た。

3. もともと悪い物だと思ひ。今でも被爆で苦しむ人はいるし、何故か内に作られてしまったんだろうと思った。でも違う考え方をすれば、自衛権には必要な世界にならうかも知れない。

4. 戦争について教えた。原爆とは恐い凶器で、それを伝えた。昔アーティカが、今もなお被爆で「苦しんで」「死んで」いることを伝えたい。戦争についても諒解が重要で、アーティカが現在がいかに幸せたかを思ひ出したい。前に核を実験して、核利用を許していいけれど、二度と戦争は起きてはいけない、アーティスを伝えたい。